

ディスクロージャー優良企業賞の受賞に寄せて

味の素株式会社 代表取締役 取締役社長 最高経営責任者 西 井 孝 明

このたび、当社は食品部門において初めての1位となり、ディスクロージャー優良企業に選定いただきました。これは偏に関係アナリストの皆様のご理解とご支援によるもので、改めて深く感謝申し上げます。

2015年6月の社長就任以来、私は国内外のアナリストや投資家の皆様との対話の機会を様々な形で持たせていただき、またIR担当役員やIR担当者を通じ、皆様からの率直なご意見や貴重なご指摘を頂戴しました。それらは、実際に中期経営計画策定やIR活動等に反映、活用させていただき、再びご意見を頂戴するというサステナブルなサイクルが構築できつつあります。今後もこのサイクルを的確に回し続け、より良い経営の舵取りを行うとともにIR活動の改善に繋がりたいと考えています。

さて現在、当社グループは、「確かなグローバル・スペシャリティ・カンパニー」の実現、グローバルに社会で存在感を発揮し、社会から評価され続ける企業になることを目指しており、2020年頃にグローバル食品企業トップ10クラス入りを果たすことを目標に掲げています。その為には、グローバル企業レベルの事業規模・利益規模や利益

を創出する世界水準の効率性という財務目標のみならず、当社ならではのコア技術・事業領域や人財力を以て人と地球の未来の進歩に貢献するという非財務（ESG）目標の達成が必須と考えています。つきましては、2017年2月公表予定の、2017-2019年度中期経営計画の中で、これらの財務目標と非財務目標が一体となった「ASV（Ajinomoto Group Shared Value）統合目標」をお示しする予定です。

非財務（ESG）情報については、本年度は2014年度から始めたESG説明会の3回目を開催致します。まだ参加者の方々のご意見を伺いながらの手探り状態ですが、当社グループとしてお伝えしたい内容が徐々に増えつつあります。また昨年初めて発行した統合報告書についても、各ステークホルダーの皆様から様々なご意見を頂戴しており、当該報告書の改善へ必ず繋げることができると思っております。そして、今後は、「ASV統合目標」を軸に、アナリストや投資家の皆様により深くご理解いただけるように説明の工夫を一層図る所存です。今後とも引き続き何卒宜しくお願い申し上げます。